

平成30年度

一般財団法人佐渡文化財団

事業報告書

平成31年4月

## I 事業総括

一般財団法人佐渡文化財団（以下、「財団」という。）は、市民の大きな期待を担って、平成30年7月2日に佐渡市の出捐により設立されました。

佐渡市役所畑野行政サービスセンターの3階に事務所を設置し、専務理事（常勤理事）兼事務局長及び佐渡市派遣職員2名を含む職員5名で業務を開始しました。

平成30年7月には、初めての理事会及び評議員会を開催し、財団設立準備委員会で決められた方針に基づいた平成30年度「事業計画」や「収支予算」を承認いただき、これらに基づき手探りながらも本格的な事業開始に向けた基礎固めを行ってきたところです。

主要な取り組みとしては、佐渡に残る貴重な伝統文化を「伝統芸能」、「伝統工芸」、「伝統建築技術」に部門分けし、それぞれの部門において「継承」、「活用」、「発信」を柱にした具体的取組を企画及び実施しました。

また、財団の設立や役割、活動などを広く周知するため、フェイスブックやインスタグラムなどのSNSの活用及び財団ホームページの開設を行いました。

平成30年度は設立初年度であり、各部門において調査や基礎固めが主となっていましたが、平成31年3月に開催された理事会において平成31年度の「事業計画」や「収支予算」を決定し、本格的な事業開始年度への移行や財団の5カ年計画の策定に向けた取組も始まりました。

## II 事業概要

定款第3条に掲げる目的の達成に向けて、伝統芸能部門、伝統工芸部門、伝統建築技術部門、情報発信部門に区分けし、以下のとおり事業を実施しました。

### 1. 伝統芸能部門

伝統芸能（民謡、鬼太鼓、能、人形芝居など）団体の現状調査を進めると同時に、継承・活用に向けた事業を展開しました。

#### (1) 継承事業

- ・ワークショップイベント「おけさトライアスロン」の実施  
佐渡民謡の祝祭イベント（H30. 9. 22）に合わせ、小学生を対象とした民謡体験ワークショップ「おけさトライアスロン」を開催。「唄」「踊り」「太鼓」の3種を学ぶ機会を提供し、小学生18名が参加した。
  
- ・芸能道具の振興  
佐渡民謡で使用する「おけさ笠」制作継承者の増加を目指し、制作実演会（H30. 9. 22）の開催や、フェイスブックでの情報発信、制作団体「おけさ笠の会」への仲介等（入会者11名、受注3件）を行った。
  
- ・ガイド養成  
市民一人ひとりが佐渡伝統文化を発信できるスキルを習得するため、バスガイド等の話術を学びながら文化に触れる勉強会を開催。
  - H31. 3. 17 バスガイド話術体験勉強会  
講師：元新潟交通佐渡バスガイド 津田隆子氏  
新潟交通佐渡バスガイド 青山菊代氏
  - H31. 3. 23 文化を活用したガイド講演会  
講師：沖縄県ていーだ観光社長 崎原真弓氏

## (2) 活用事業

### ・ 芸能派遣

H30.5 に設立された創作芸能集団「佐渡ヶ島謡踊団」を佐渡芸能 PR 団体として「トキ放鳥 10 周年記念式典 (H30.10.10)」、「30 周年記念国分寺まつり (H30.11.4)」へ派遣した。また、2020 東京オリパラを見据えた次年度以降の派遣計画を作成した。

### ・ グッズ制作

鬼太鼓と佐渡おけさを題材とした「ぬりえ紙芝居」2 種を制作。各保育園に配布し、郷土愛の醸成や伝統芸能の継承にむけた活用を依頼した。

## (3) 共催後援・受託・実行委員会事業

- ・ 佐渡民謡の祝祭 (共催)
- ・ 佐渡の魅力をも未来につなげよう (共催)
- ・ 国民文化祭にいがた 2019 (実行委員)
- ・ アースセレブレーション 2019 (実行委員)
- ・ sea 級サミット全国大会 (実行委員)

## 2. 伝統建築部門

伝統建築に関する技術や職人の実態調査、需要の調査を進めると同時に、調整窓口化、事業化の検討を行った。

### (1) 継承事業

#### ・ 技術者調査・データ一元化

調査の結果、島内に宮大工はおらず各工務店がやむなく修繕を請け負っている状況であるが、伝統的な屋根材の「茅葺き」に関しては技術と職人 (2 名) が現存していることを把握。

#### ・ 「茅葺き」に関する事業化の是非を調査

地域資源 (里山資源・文化財保護・観光資源・生活文化) の継承・活用という観点から、調整窓口、継承者育成、資材供給の事業化を検討中。職人や文化財室・所有者 (5 軒) との意見交換、物件のリストアップ (約 90 軒)、所有者から職人へ修繕仲介 (2 件) を行った。

## (2) 情報発信事業

### ・社寺建築アーカイブ事業

かつて島内各所で高い技術をふるったとされる宮大工のグループが手掛けた社寺建築について、その建造物のアーカイブ化（動画と写真）を実施し、ホームページなどの媒体を通じて島内外へ発信する道筋を作った。島内に現存する社寺建築のうち19件を選定し撮影。

## 3. 伝統工芸部門

伝統工芸の作家や職人（陶芸、竹細工など）の実態調査を進めると同時に、主に継承に向けた事業を展開した。

### (1) 継承事業

#### ・ワークショップの実施

技術継承の具体的な事業策定にあたりプレ講座として竹細工ワークショップを企画し、島内外から160名余の応募を受付。2月に4日間、20名を対象に開催予定。職人塾開講も策定予定。

#### ・アーカイブ

後継者のいない技術「すげ笠」職人の取材・記録。

### (2) 活用事業

#### ・仲介

普及啓発を目的として竹細工ワークショップの自主開催を検討している2団体から依頼があったため講師仲介やプログラム提案を行った。

### (3) 情報発信事業

#### ・PR

2月のワークショップ告知に伴い、フェイスブックで佐渡における竹細工文化と民具としての魅力を発信した。

## 4. 情報発信部門

SNSを活用した情報発信及びHPの制作を行った。

- ・文化財団フェイスブック（H30.7）
- ・文化財団インスタグラム（H30.7）
- ・文化財団ホームページ（H31.3）

### Ⅲ 総務事項

#### 1. 組織

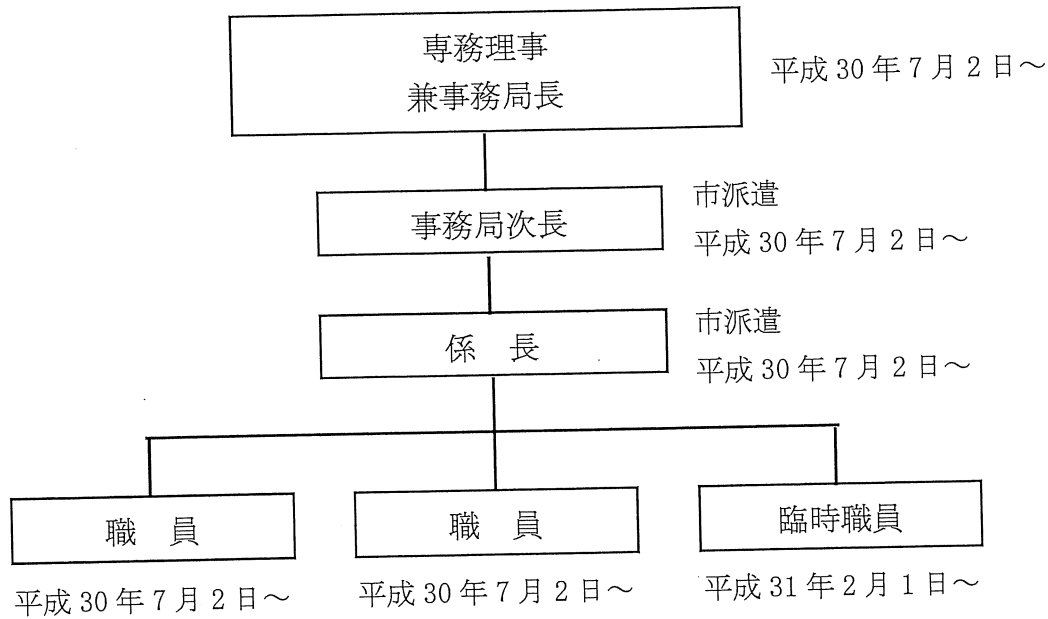
##### (1) 評議員

役職	氏名	就任	備考
評議員	藤木 則夫	平成30年7月2日	佐渡市副市長
評議員	渡邊 尚人	平成30年7月2日	佐渡市教育長
評議員	伊藤 窯一	平成30年7月2日	
評議員	本間 久雄	平成30年7月2日	
評議員	加藤 廣文	平成30年7月2日	
評議員	徳永 健一	平成30年7月2日	
評議員	齋藤 美千枝	平成30年7月2日	
評議員	佐々木 恵理紗	平成30年7月2日	
評議員	末武 榮子	平成30年7月2日	

##### (2) 理事・監事

役職	氏名	就任	備考
理事長	高藤 一郎平	平成30年7月2日	
専務理事	伊藤 慎太郎	平成30年7月2日	
理事	加藤 透	平成30年7月2日	
理事	渡邊 秀則	平成30年7月2日	
理事	上之山 博文	平成30年7月2日	
理事	本間 千奈未	平成30年7月2日	
理事	日下 徹啓	平成30年7月2日	
監事	祝 良久	平成30年7月2日	
監事	河原 森久	平成30年7月2日	

(3) 事務局



2. 会議の開催

(1) 理事会

第1回臨時理事会

- 日時 平成30年7月19日(木)  
場所 畑野行政サービスセンター 3階 大会議室  
議案 ①平成30年度(7月～3月)事業計画について  
②平成30年度(7月～3月)収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて  
③一般財団法人佐渡文化財団規定類について  
④平成30年度第1回臨時評議員会の招集について

第1回定時理事会

- 日時 平成30年10月31日(水)  
場所 畑野行政サービスセンター 4階 大会議室  
議案 ①平成31年度一般財団法人佐渡文化財団の予算編成方針について  
②一般財団法人佐渡文化財団文書管理規定の一部を改正する規定について

- ③一般財団法人佐渡文化財団専務決裁規定の一部を改正する規定について
- ④一般財団法人佐渡文化財団嘱託職員等就業規則の一部を改正する規定について

#### 第2回臨時理事会

- 日時 平成31年1月31日(木)
- 場所 畑野行政サービスセンター 4階 大会議室
- 議案 ①一般財団法人佐渡文化財団事業計画策定委員会規則の制定について

#### 第2回定時理事会

- 日時 平成31年3月26日(火)
- 場所 畑野行政サービスセンター 4階 大会議室
- 議案 ①平成30年度第1次補正収支予算書について
- ②一般財団法人佐渡文化財団伝統芸能楽器等貸出要綱の制定について
- ③一般財団法人佐渡文化財団会計処理規定の一部を改正する規定について
- ④一般財団法人佐渡文化財団就業規則の一部を改正する規定について
- ⑤一般財団法人佐渡文化財団嘱託職員等就業規則の一部を改正する規定について
- ⑥一般財団法人佐渡文化財団給与規定の一部を改正する規定について
- ⑦平成31年度事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて

## (2) 評議員会

#### 第1回臨時評議員会

- 日時 平成30年7月30日(月)
- 場所 畑野行政サービスセンター 3階 大会議室
- 議案 ①一般財団法人佐渡文化財団評議員会運営規則について
- ②一般財団法人佐渡文化財団役員及び評議員の報酬並びに費用等に関する規則について